

## 愛媛県教育委員会12月定例会会議録

- 1 開会の日時及び場所  
平成23年12月20日（火）午後4時00分  
愛媛県庁 第一別館 教育委員室
- 2 委員定数  
6人
- 3 出席委員  
委員長 松岡義勝 委員 伊藤剛吉 委員 井上弘子  
委員 西田真己 委員 関 啓三 教育長 藤岡 澄
- 4 欠席委員  
なし
- 5 会議に出席した公務員の職氏名  
副教育長 清水 進 管理部長 伊藤 優  
指導部長 福本純一 教育総務課長 名智 満  
教職員厚生室長 越智和彦 生涯学習課長 橋本健治  
文化財保護課長 山本亜紀子 保健体育課長 福田和樹  
義務教育課長 越智眞次 高校教育課長 竹本公三  
人権教育課長 新谷和志 特別支援教育課長 西原昇次
- 6 会議の概要
  - (1) 開 会  
委員長 午後4時00分開会を宣する。  
委員長 その他の協議案件の表彰案件2件については、人事案件であることから審議を非公開とすることを発議する。  
全委員 異議ない旨答える。
  - (2) 11月定例会会議録の承認  
委員長 11月定例会会議録の承認について諮る。  
全委員 異議ない旨答える。  
委員長 承認する旨宣する。
  - (3) 教育長報告  
委員長 報告を求める。  
平成23年12月定例県議会質問及び答弁要旨について  
教育長 平成23年12月定例県議会における教育委員会関係の質問事項と答弁要旨について報告する。  
井上委員 加点制度を利用して採用された教員の活用等に関連し、先日、生徒が英語だけで討論する高等学校の授業を参観したが、難しい取組にもかかわらず、それぞれの生徒が表情豊かに生き生きと

活躍しており、改めて国際理解のある教員の力の大切さを感じた旨、及び現在は財政難等で海外派遣などが少なくなっているが、今後さらに世界で活躍できる生徒を育てるためにも、このような教員が海外で学ぶ機会を充実してほしい旨意見を述べる。

委員長 被災地支援に関して、本県の高校生が現地で直接支援することは困難と考えるが、どのような場合に可能か質問する。

教育長 親と一緒に被災地支援に行った高校生がいると聞いているが、それらは生徒等が自主的にしているものであり、学校でのあっせんや取りまとめは難しいと考える旨、及び今後の復興支援において高校生が活躍できる場があるかどうか現段階での判断は難しいと考える旨回答する。

委員長 勤務先の大学においては、被災地支援を希望する学生に必要な用具の貸出しをしているが、実際学生が自発的に時間を確保し東北に向かうことは困難であると考え旨、及び県内等の災害復興支援などでは活躍の場もあるが、高校生を学校が引率して東北に行くことは困難と考える旨意見を述べる。

委員長 高校教育課として意見はあるか質問する。

高校教育課長 高校生のボランティアは、親と同伴でしたものや、東北で実施された部活動の全国大会の現地滞在中に参加したものであり、学校での引率は、財政面での問題や生徒自身の意思もあるので困難と考える旨、及び現地に向かうことだけが支援ではないので、今後どのような支援ができるか校長会等の意見も踏まえて検討したい旨回答する。

委員長 現地での直接のボランティアだけが支援ではないので、可能な範囲で支援を検討してもらいたい旨意見を述べる。

東日本大震災への支援状況について

教育総務課長 東日本大震災への支援状況について報告する。

公立学校裏サイト等監視員設置事業の監視状況について

人権教育課長 平成22年9月から実施している公立学校裏サイト等監視員設置事業について、事業の概要を説明するとともに、これまで285の掲示板において不適切な書き込みを4,054件見つけ削除要請を行い、うち4,018件については削除されたことについて説明する。

委員長 昨年と今年の発見件数及び書き込みの状況について質問する。

人権教育課長 公開掲示板での書き込みは若干減少しているが、その一部はパスワードを設けた掲示板に移行していると考え旨回答する。

委員長 このような事業の取組が、一つの抑止力になっていると

考える旨意見を述べる。

(4) 議 事

専決処分の承認

委員長 専決処分について報告を求める。

○教職員の報賞について

義務教育課長 死亡した公立小学校教員に対し、愛媛県教職員報賞規程に基づき報賞することについて、愛媛県教育委員会教育長専決規則に基づき専決処分した旨報告し、承認を求める。

委員長 意見を求める。

全委員 異議ない旨答える。

委員長 承認する旨宣する。

委員長 以後の案件を非公開とする旨宣する。

(5) その他

平成24年度子どもの読書活動優秀実践図書館・団体文部科学大臣表彰について

委員長 協議題の説明を求める。

生涯学習課長 平成24年度子どもの読書活動優秀実践図書館・団体文部科学大臣表彰の被表彰候補図書館（1図書館）及び被表彰候補団体（1団体）の推薦について説明する。

西田委員 推薦候補となっている団体の活動現場を見たことがあるが、大変工夫して実施しており、良い活動内容であった旨意見を述べる。

委員長 原案について諮る。

全委員 異議ない旨答える。

委員長 了承する旨宣する。

○平成24年度子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰について

委員長 協議題の説明を求める。

義務教育課長 平成24年度子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰の被表彰候補校（3校）の推薦について説明する。

委員長 原案について諮る。

全委員 異議ない旨答える。

委員長 了承する旨宣する。

委員長 非公開案件終了のため会議を公開する旨宣する。

(6) 閉 会

委員長 午後5時00分閉会を宣する。

以上会議のてん末を記録し、相違のないことを証するため署名する。